

Symposium on **SEXUAL SELECTION AND SEXUAL CONFLICT**

Saturday 28 October 2006 9:30-17:00

At Okayama University 50th Anniversary Hall

Session 1

Chair Takahisa Miyatake *Okayama University*

09:30 Opening remark

09:40 David Hosken *University of Exeter in Cornwall*
Sexual Selection and Sexual Conflict: a Personal View (Plenary Talk 1)

10:30 Coffee

11:00 Takehiko I. Hayashi *National Institute of Advanced Industrial Science and Technology*
Theoretical Models of Sexual Conflict: Evolution of Mate Choice by Sexual Conflict over Mating Rate

11:30 Tomohiro Harano *Okayama University*
Experimental Evidence for Evolution of Polyandry in *Callosobruchus chinensis*

12:00 Yukio Yasui *Kagawa University*
The Genetic Benefits of Female Multiple Mating

12:30 Lunch

Session 2

Chair David Hosken *University of Exeter in Cornwall*

14:00 Patty Gowaty *University of Georgia*
Chance, Time, Sexual Selection and Sexual Conflict (Plenary Talk 2)

14:50 Mariko Takahashi *The University of Tokyo*
The Peacock's Tail or Peacock's Call: A Study of Sexual Selection in Indian Peafowl

15:20 Tea

15:50 Mariko Hasegawa *The Graduate University for Advanced Studies*
Conflict and Cooperation between the two Sexes in Humans

16:30 Eiiti Kasuya *Kyushu University*
Comments-What Sexual Conflict Brings to Us

16:45 Discussion

17:00 Close

This symposium is supported by 21st Century COE Program: Center for Evolutionary Cognitive Sciences at the University of Tokyo & The Kimura Trust for The Promotion of Evolutionary Biology.

ラウンドテーブル

R-1 雌雄同体という生き方

企画責任者：中嶋康裕（日大・経済）・浅見崇比呂（信州大・理）

10月27日 17:00-19:00 農学部1号館・第3講義室

遊佐陽一（奈良女子大・理）

『フジツボ類の繁殖行動：小集団で交配する雌雄同体におけるサイズに依存した性配分と性選択』

浅見崇比呂（信州大・理）・Amporn Wiwegweaw（信州大・理）

『カタツムリにみる同時雌雄同体の交尾中隔離』

関さと子（琉球大・理工・21世紀COE）・中嶋康裕（日大・経済）

『ウミウシ類の配偶行動』

後藤太郎（三重大・教育）

『イソヤムシ類の配偶行動』

R-2 イヌの行動学

企画責任者：長谷川寿一（東大院・総合文化・生命環境）・薮田慎司（帝京科学大・アニマルサイエンス）

10月29日 13:00-15:00 農学部1号館・第1講義室

長谷川寿一（東大院・総合文化・生命環境）

『イヌの行動研究の面白さと必要性』

薮田慎司（帝京科学大・アニマルサイエンス）

『個体の性格（パーソナリティ）とは何か』

中島定彦（関西学院大・文・心理）

『イヌの認知研究—歴史と現状—』

森 裕司（東大院・農学生命・動物行動）

『獣医動物行動学における最近の話題』

R-3 種間交雑による種形成の可能性

企画責任者：小原嘉明（東京農工大学・院農）

10月29日 13:00-15:00 農学部1号館・第3講義室

小原嘉明（東京農工大学・院農）

『パイオニア雄仮説：雄の配偶者認知メカニズムの曖昧さと種間交雑』

吉村 仁（静岡大学・創造科学技術大学院）

『種分化の歴史から見た種間交雑』

林 文男（首都大・生命科学）

『トンボ類にみられる交雑の促進と抑制』

栗岩 薫（東京大学・海洋研究所）

『海産魚類における種間交雑』

R-4 親の保護と卵サイズ：再訪

企画責任者：工藤慎一（鳴門教育大・学校教育・生物）・松浦健二（岡山大院・環境）

10月29日 13:00-15:00 農学部1号館・第4講義室

原田泰志（三重大院・生資）

『親の保護と卵サイズ—その理論背景』

工藤慎一（鳴門教育大・学校教育・生物）

『節足動物の親の保護と卵サイズ—各階層に見られるパターン』

松浦健二（岡山大院・環境）

『社会性昆虫の卵保護と卵サイズ、および卵擬態者との関係』

武山智博（京大・生態研・COE）

『魚類における親の保護と卵サイズの関係』

ポスター講演

10月27日(金) 13:00~17:00

10月28日(土) 9:00~18:00 (12:30~13:30 入れ替え)

10月29日(日) 9:00~12:00

創立五十周年記念館 2階

前半 (27日 13:00~28日 12:30)

(○は講演者)

P1-1 アミメアリ *Pristomyrmex punctatus* における利己的寄生者の時空間動態：理論と実証

○土畑重人(東大院・総合文化・広域システム)・佐々木智基(琉球大・農)・嶋田正和(東大院・総合文化・広域システム)・辻和希(琉球大・農)

P1-2 ウメマツアリ *Vollenhovia emervi* の雌および雌によるクローン生殖

○小林和也(北大・農・動物生態)・長谷川英祐(北大・農・動物生態)・大河原恭祐(金沢大・自然科学研・生物)

P1-3 サムライアリ脱翅雌によるクロヤマアリコロニーの乗っ取り行動

○恒岡洋右(茨城大・理・自然史)

P1-4 もしも世界が 30 頭の怠けアリだったら... ~ *Myrmica kotokui* の社会生理学~

○石井康規・長谷川英祐(北大院・農・生物生態・体系)

P1-5 オーストラリア産アシナガバチ *Ropalidia plebeiana* の順位行動

○土田浩治(岐阜大・応用生物・昆虫生態)

P1-6 キイロスズメバチ *Vespa simillima* ワーカーによる社会寄生

○高橋純一(玉大・学術研・学振 PD)

P1-7 宿主の繁殖を操作する細胞内共生細菌 *Wolbachia* の人為的宿主間転移の試み

○廣木真達・加藤義臣(国際基督教大学・生物)

P1-8 ハイガシラゴウシュウマルハシにおける群れサイズに応じた子の性比調節

○山口典之(横国大・環境情報)・江口和洋(九州大・理・生物)・上田恵介(立教大・理・生命理学)・勝野陽子(九州大院・比較社会文化)・高木昌興(大阪市大院・理・生物地球系)・永田尚志(国環研・生物環境)・Richard Noske(Charles Darwin Uni.・School of Science and Primary Industries)

P1-9 ハトにおける餌の共有と独占を巡る社会的相互作用の分析：他個体との対戦

○伊藤正人(大阪市大・心理)・佐伯大輔(大阪市大・心理)・仲道紗也香(大阪市大・心理)・山口哲生(大阪市大・心理)

P1-10 飼育下のハシブトガラスにおける個体認知に基づく順位形成

○伊澤栄一(慶応大・文・心理)

P1-11 ニホンメダカ *Oryzias latipes* の攻撃性と脳内 AVT との関係

○須崎大介(近畿大院・総合理工・理)・池田健太(近畿大・理工・生命)・加川尚(近畿大・理工・生命)

P1-12 小笠原諸島父島西岸におけるザトウクジラの出現と潮汐周期との関係

○永井円(東邦大院・生物専攻・海洋生物)・風呂田利夫(東邦大・理学)

P1-13 音声学習したセキセイインコにおける脳内 *Zenk* タンパク発現様式の解析

○今川拓也・竹内浩昭(静岡大・院理工・生物)・藤原宏子・宮本武典(日本女子大・理・生体情報科学)・佐藤亮平(北里大・医・生理学)

P1-14 系列反応時間を指標としたジュウシマツの系列行動の分析

○山崎由美子(理研 BSI・象徴概念)・鈴木研太(理研 BSI・生物言語)・岡ノ谷一夫(理研 BSI・生物言語)

P1-15 異なる飼育温度がアズキゾウムシの形質に及ぼす進化的影響

○寺田憲司・宮竹貴久(岡大院・環境・進化生態)

P1-16 ウメスカシクロバの孵化率にナトリウム摂取が影響するか

○小汐千春(鳴門教育大・学校教育)

P1-17 シロヘリツチカメムシの保育における若齢幼虫の糞食行動の意義

○稲富弘一(佐賀大・農)・フィリップリサ(Hofstra Univ.)・弘中満太郎(浜松医大・生物)・馬場成実・柳孝夫・野間口真太郎(佐賀大・農)

P1-18 シロヘリツチカメムシの保育行動：卵保護と断続的な給餌行動

○馬場成実(佐賀大・農)・弘中満太郎(浜松医大・生物)・柳孝夫・稲富弘一・野間口真太郎(佐賀大・農)

P1-19 セイヨウミツバチの卵巣発達に対するドパミンの影響

○成田朱紀(農工大・農・動物行動)・佐々木謙(金沢工大・生命情報)・佐藤俊幸(農工大・農・動物行動)・小原嘉明(農工大・農・動物行動)

P1-20 アメンボの産卵深度決定要因

○平山寛之(九大・理・生態科学)・粕谷英一(九大・理・生態科学)

P1-21 Bactrothrips brevibusにおける母性効果について

○柴田智広・土田浩治(岐阜大・応用生物・昆虫)・Brenda D.Kranz(Adelaide 大)

P1-22 糸状構造物を作るヨコエビDulichia sp. の造巣行動

○新居洋吾・青木優和(筑波大・下田臨海)

P1-23 Diandryベラにおける一次雄の出現機構の探索—幼魚の同居飼育実験

貞松大樹・福井行雄・国吉久人・○坂井陽一・橋本博明(広島大院・生物圏科学)

P1-24 アオモンイトトンボの雄が示す雌の色彩2型に対する頻度依存的配偶者選択

○高橋佑磨・渡辺守(筑波大院・生命環境)

P1-25 アカトンボ属にみられる種間交雑と形質置換

○林文男(首都大・生命科学)・二橋亮(東大・先端生命科学)

P1-26 アズキノウムシ雌の多回交尾の進化：給餌計画による人為淘汰実験

○安井行雄・相良亮・溝口博美・河野裕(香川大・農・昆虫)・原野智広・柳真一・宮竹貴久(岡山大院・環境・進化生態)

P1-27 アブラムシにおける性比の進化

○秋元信一(北大院・農・生物生態体系学)・Debor Suzuki(北大院・農・生物生態体系学)

P1-28 オオフタオビドロバチにおける性比理論の検証；異なる2地域で性比に違いは見られるか

安井行雄・○藤田彩(香川大・農・昆虫)

P1-29 オス間闘争はメスへの過剰な投資を生み出す

○岸茂樹1・高倉耕一2・西田隆義1(1 京大院・農・昆虫生態、2 大阪環科研・水)

P1-30 クロスジツマグロヨコバイの雄はどのようにして雌に交尾を促すのか？

○福井昌夫(京都大院農・昆虫生理)・中尾慎一(京都大学・農学部)

P1-31 コバネヒョウタンナガカメムシ雄の付属腺物質は雌の再交尾を抑制する

○日室千尋・藤崎憲治(京大院・農・昆虫生態)

P1-32 サツポロフキバツタのメスにおける交尾拒否行動：未交尾メスが拒否する？

○佐々木有香・菅野良一・秋元信一(北大・農・昆虫体系)

P1-33 スズムシの齢依存的な配偶者選択 相手を選べるときと選べないときの違い

○栗和田隆・粕谷 英一(九大・理・生態)

P1-34 ツマキチョウの配偶者選択：翅色彩の操作実験から

○稲森啓太(京大・理・動物行動)

P1-35 Cardiocondyla kagutsuchiにおける雌雄モザイク個体の形態と繁殖行動および繁殖能力

○吉澤樹理・土田浩治(岐阜大・応用生物・昆虫)・山内克典(岐阜大・教育・生物)

P1-36 パパア・ニューギニアの同時明滅するホタルPteroptyx effulgensに対する人工光シグナルの影響

○大場信義(産総研関西センター)

P1-37 DNA親子解析によるクラカオスズメダイのメス擬態型スニーキング効果の解明

○佐川鉄平(琉球大院・海洋環境・熱帯生物科学)・中尾芳典(琉球大・理・海洋自然科学)

P1-38 アブラボテにおける雌のなわぼりの意義

○北島淳也(岐阜大学)・森誠一(岐阜経済大学)

P1-39 アブラボテの繁殖形質と繁殖行動

○田上佳子(東海タナゴ研究会)・北島淳也(岐阜大学)・森誠一(岐阜経済大学)

P1-40 キマダラヤセカジカの念入りな交尾行動

○阿部拓三(南三陸町・自然環境活用セ)・宗原弘幸(北大・FSセ)

P1-41 ニジギンボにおける巣の多さが性別決定に及ぼす影響の検証

○柴田淳也(京大・生態研センター)・幸田正典(大阪市大・理・動物機能生態)

P1-42 ハオコゼ雄における代替繁殖戦略の使い分けとその要因

○松岡加奈(大阪市大・院理・動物機能生態)・小北智之(福井県立大・生物資源)・幸田正典(大阪市大・院理・動物機能生態)

P1-43 ハレム社会における双方向性転換—サラサゴンベの野外調査から

○門田立・大里純・坂井陽一・橋本博明・具島健二(広島大・院・生物圏科学)

P1-44 精子を食べられると精子が増える？—ウミウシの性配分モデル

○山口幸(奈良女大院・人間文化)・中嶋康裕(日本大・経済)・高橋智(奈良女大院・人間文化)

P1-45 ウミウシに見られる特殊な配偶行動—ペニスの伸長と自切

○高橋絢(琉大・理)・関さと子(琉大・理工・21世紀COE)・中嶋康裕(日大・経済)

P1-46 カタツムリの交尾中隔離を引き起こす雌雄の役割

○杉緑(信州大・理・生物)・浅見崇比呂(信州大・理・生物)

P1-47 サンゴタツ(タツノオトシゴ属)のメスとオスは、異なる水温条件下で明部と暗部のどちらを選ぶか？

○大塚悠・金子哲也・草間啓(東海大海洋)・大谷明範・澤木清人(マリニピア松島水族館)・鈴木宏易(東海大海洋科学博)・赤川泉(東海大海洋)

P1-48 シシイカの腕にみられる顕著な性的二型

○和田年史(鳥取県博・山陰海岸学習館)・竹垣毅(長崎大院・生産科学)・夏苺豊(長崎大・水産)

P1-49 ヒト集団における夫婦相関

○小須田和彦(城西大・理・教養)

P1-50 ヒト女性の腰のくびれに対する評価と認知に影響する性差と経験

○森貴久・野田文乃(帝京科学大・アニマルサイエンス)

P1-51 イカはいつから鏡に向かうのか?アオリイカの鏡映像タッチ行動発現過程

○池田譲(琉球大・理・海洋自然)

P1-52 コニシキソウにおけるアリによる種子散布

○大西義浩(鹿児島大院・連合農)・鈴木信彦(佐賀大・農)

P1-53 セイヨウミツバチの繁殖行動におけるforaging 遺伝子発現の変動

○野村祥吾・加藤裕貴(玉川大・農)・高橋純一・吉田忠晴(玉川大・ミツバチ研)・佐々木正己(玉川大・農)

P1-54 オオヒラタシデムシの肉に対する誘引性と摂食量

○滝若菜・渡辺守(筑波大・生物科学)

P1-55 シャープゲンゴロウモドキ幼虫はなぜオタマジャクシの腹部を摂食するのか?

○猪田利夫・辻弘貴(希少水生昆虫研究会)・上村慎治(東大・総合文化)・堀道雄(京大・動物生態)

P1-56 ムラサキシジミ幼虫の寄生回避におけるアリの役割

西森大樹・○鈴木信彦(佐賀大・農)

P1-57 ウミウにおける兄弟雛間の餌獲得の不均一性:小さな雛は兄弟を出し抜くか?

○井上裕紀子・綿貫豊(北大院・水産・海洋生態)

P1-58 ハシボソガラスはギャンプラー? — 貝落とし行動における意思決定 —

○高木憲太郎(NPO法人パードリサーチ)

P1-59 シルバーアロワナの捕食行動:視覚、嗅覚に基づく餌の認識

○西野寛志(開明高等学校)

P1-60 アワノメイガの音響交信 — 配偶者認識か? 捕食者回避か? —

○中野亮・石川幸男・田付貞洋(東大院・農学生命)・Annemarie Surlykke・Niels Skals(南デンマーク大)・高梨琢磨(森林総研)

P1-61 ベイツ型擬態ではモデルは損しない!?

○本間淳(京大院・農・昆虫生態)・高倉耕一(大阪市環境研)・西田隆義(京大院・農・昆虫生態)

P1-62 潜っても逃げられない—コモリグモによるボウフラの捕食

○二見恭子(長大・熱研・センター)・皆川昇(長大・熱研・センター)

P1-63 東南アジア熱帯産マダラチョウ類の捕食回避効果

○土屋泰三(京大院・人環)・市岡孝朗(京大院・人環)

P1-64 捕食圧の違いがもたらすマメアブラムシ—アリ共生系の変異

○片山昇・大串隆之(京大・生態学研究センター)

P1-65 ウニの移動における棘と管足の役割

○渡部あゆみ・本川達雄(東工大院・生命理工・生体システム)

P1-66 楕円形のウニはどちらへ進むのか?

○吉村和也・本川達雄(東工大・生命理工)

P1-67 トラフコウイカ *Sepia pharaonis*における遊泳行動の発達と底質環境

○阿部由紀子(琉球大院・理工・海洋自然)・池田譲(琉球大・理・海洋自然)

P1-68 ハタゴイソギンチャクの生息場所選択と拡大空中写真の画像解析

○服部昭尚(滋賀大・教育・理数情報)・小林都(石垣市在住)

P1-69 プラナリアの集合行動

○草山太一(昭和大・教育・心理)・朝比奈茂(昭和大・教育・補完代替医療)

P1-70 山梨県上野原市周辺に生息している陸産貝類とアジサイとの関係

○桜井雄太(帝京科学大院・理工・アニマルサイエンス)

P1-71 琉球列島周辺に生息するソデフリダコおよびウデナガカクレダコの活動パターン

○柳澤涼子(琉球大・理工・海洋自然)・池田譲(琉球大・理・海洋自然)

P1-72 Pattern of mtDNA introgression between non-reciprocally isolated species of snails

○Amporn Wiwegweaw・Takahiro Asami(Dept. of Biol., Shinshu Univ.)

後半 (28日 13:30~29日 12:00)

P2-1 攻撃・共同・利他行動をすべて説明できるゲームモデル

○齋藤裕(北大農学研究院)・高田壮則(北大地球環境科学研究院)

P2-2 シロアリのコロニーの遺伝的多様性と病気に対する抵抗性分析

○巽真悟(岡山大・農)・松浦健二(岡山大・院・環境)

P2-3 条件的単為生殖を行うヤマトシロアリの単為生殖卵と有性生殖卵の比較

○小林憲正 (岡大院・環境・昆虫生態)・松浦健二 (岡大院・環境・昆虫生態)

P2-4 シロアリ卵擬態菌核菌 (Termite ball) の化学擬態物質の獲得メカニズム

○矢代敏久 (岡山大学・院・環境)・松浦健二 (岡山大学・院・環境)

P2-5 シロアリのカースト配分を巡る血縁対立の立証

○松浦健二 (岡山大学・院・環境)

P2-6 ハダカデバネズミの鳴き交わしは社会順位と関連するか

○吉田重人 (千葉大院・自然科学、理研 BSI)・岡ノ谷一夫 (千葉大院・自然科学、理研 BSI)

P2-7 御蔵島周辺海域に生息するミナミハンドウイルカの個体間関係

○永田清美 (三重大院生資)・菱井徹 (御蔵島イルカ協会)・小木万布 (御蔵島観光協会)・原口涼子・宮迫真代 (東京農工大農)・吉岡基 (三重大院生資)

P2-8 チンパンジー (Pan troglodytes) はどんなときに他者を覗き込むか?

○藤本麻里子 (滋賀県立大院・人間文化)

P2-9 シロテテナガザルにおける音の認知

○小田 亮 (名古屋工大・情報)・座馬 耕一郎 (京都市大・霊長研)・福井大祐 (旭川市旭山動物園)

P2-10 ニホンザルにおける他個体との近接に関連した見回しと発声の頻度

○鈴木真理子 (京大・霊長研)

P2-11 ミューラーテナガザルの雄の歌における系列規則

○井上陽一 (西舞鶴高校)・井上悦子 (中丹養護学校)・Waidi Sinun (Research & Development Division Yayasan Sabah Group)・吉田重人・岡ノ谷一夫 (理研 BSI、千葉大自然研)

P2-12 カラ類混群の形成は鳴き声によって促進されるか?

○鈴木俊貴 (東邦大院・理・地理生態)

P2-13 ジュウシマツとその原種の歌学習：家禽化による生得性の緩和

○高橋美樹・岡ノ谷一夫 (理化学研究所・BSI・生物言語研究チーム)

P2-14 ハシブトガラス (Corvus macrorhynchos) の鳴き声の分類の試み

○近藤紀子 (慶應大・心理)・伊澤栄一 (慶應大・心理)・渡辺茂 (慶應大・心理)

P2-15 ヨオロギの calling song と courtship song

○角恵理 (東大院・総合文化)

P2-16 ニホンミツバチワーカーの卵巣発達と敵対行動

○中地佐知江・佐藤俊幸・小原嘉明 (農工大・農・動物行動)

P2-17 ベニツチカメムシの保育時に母親から発信される振動音

柳孝夫・馬場成実・稲富弘一 (佐大農)・弘中満太郎 (浜松医大)・Filippi Lisa (Hofstra 大)・

○野間口真太郎 (佐大農)

P2-18 ヨシノミヤアブラムシの防衛行動：親と子が共同してゴールを守る

○植松圭吾 (東大院・広域システム)・杏掛磨也子 (産総研・生物機能工学)・深津武馬 (産総研・生物機能工学)・柴尾晴信 (東大院・広域システム)・嶋田正和 (東大院・広域システム)

P2-19 線虫Caenorhabditis elegansの適応的産卵行動の可能性について

○小椋恵梨 (九大・理・生態)・矢原徹一 (九大・理・生態)

P2-20 オス投資と配偶戦略の進化について：個体ベースシミュレーションによる検討

○関元秀 (東京大院・理・生物)・井原泰雄 (東京大院・理・生物)

P2-21 ねぐら内のオガサワラオオコウモリの行動とその季節変化

○杉田典正 (立教大・院・生命理学)・上田恵介 (立教大・理・動物生態)

P2-22 野生チンパンジーの「迷子」の発するロスト・コールへの母親の反応

○松阪崇久 (滋賀県立大・人間文化)・カブンベ A カトゥンバ (マハレ山塊チンパンジー調査プロジェクト)

P2-23 長野市千曲川におけるオナガの卵識別能力の変化について

○福田真・中村浩志 (信州大・教育・生態研)

P2-24 東京大学における基礎生命科学実験：「ゆとり教育第一世代」の大学新入生への開講に向けて

○柴尾晴信・青木誠志郎・片山光徳・坂山英俊・福井彰雅・藤原誠・水澤直樹・道上達男・箕浦高子 (東京大学・教養学部)

P2-25 ヒメボタルLuciola parvulaにおける、オスによるメスの発光の認識

○高津英夫 (東海市)

P2-26 ミヤマカワトンボにおいてオスによる精子置換が不完全なのはなぜか?

○土屋香織 (首都大・院・理)・林文男 (首都大・理)

P2-27 モンキチョウの雌が再交尾受け入れを決定する要因

○入江萩子 (筑波大・生物科学)・高松あずさ (東京農大・地域環境科学)・渡辺守 (筑波大・生物科学)

P2-28 ヨツボシモンシテムシの繁殖における資源処理行動

○岸田竜 (佐賀大・農)・鈴木信彦 (佐賀大・農)

P2-29 リュウキュウクロコガネメスのメスへの定位と交尾集団形成

○深谷緑・安居拓恵・若村定男・秋野順治 (農生研・昆虫)・新垣則雄 (沖縄農研)

P2-30 交尾中断実験から推定されたアジアイトトンボの精子注入過程

○田島裕介・渡辺守 (筑波大院・生命共存)

P2-31 雌は再交尾によって雄のハラスメントを回避できるのか?-アズキノウムシのペニス除去雄を用いた検証-

○桜井玄 (九大・理・生態科学)・粕谷英一 (九大・理・生態科学)

P2-32 アズキノウムシの交尾頻度における雌雄間の遺伝相関の検証

○原野智広 (岡山大院・環境・進化生態)

P2-33 小さいカブトはよく飛ぶ?

○本郷儀人 (京大・理・動物行動)

P2-34 占有経験がチョウの縄張り闘争の結果を決定する

○竹内剛 (京大院・理・動物行動)・本田計一 (広島大院・生物圏科学・化学生態)

P2-35 捕食者の存在に影響されるハダニの交尾前行動

○奥圭子 (岡大院・環境・進化生態)

P2-36 溪流の光環境と体温：カワトンボ属におけるなわばり場所選択との関係

○鮫島由佳 (京大・生態研センター)・椿宜高 (京大・生態研センター)

P2-37 ミツボシキウセンの一次雄はどのようにグループ産卵に参加するのか?

○鈴木祥平 (大阪市立大院・理)・幸田正典 (大阪市立大院・理)

P2-38 ロウソクギンボ雄の体サイズに調和した産卵巣サイズ選択

○竹垣毅 (長崎大院・生産研)・松本有記雄・田和篤・宮野哲平・夏苺豊 (長崎大・水産)

P2-39 小さくても派手なオスーサンゴ礁にすむスジブダイの体色二形と代替繁殖戦略

○桑村哲生 (中京大・教養)・鈴木祥平 (大阪市大院・理)

P2-40 ソードテールフィッシュにおける選好性の定量化

和田裕香・○種田耕二 (高知大・理・自然環境)

P2-41 クラカオスズメダイの雄の卵塊獲得の制限要因

○中尾芳典 (琉球大・理・海洋自然)・佐川鉄平 (琉球大院・海洋環境・熱帯生物科学)・中嶋康裕 (日大・経済)

P2-42 タンガニイカシクリッドにおける一夫多妻的協同繁殖

○武山智博 (京大・生態研センター)・Dik Heg・Danielle Bonfils・Michael Taborsky (University of Bern)・幸田正典 (大阪市大・院理)

P2-43 コメツキガニ *Scopimera globosa* の巣穴を巡る競争行動

○池田早登司・古賀庸憲 (和歌山大・教育)

P2-44 コメツキガニにおいて脚の長いオスがよく waving display をするか?

岡本茜・○古賀庸憲 (和歌山大・教育)

P2-45 利き手の異なるサワガニ個体間の闘争レパトリーの違い

○繁宮悠介 (長崎総合科学大・人間環境)

P2-46 ノネコのオスは血縁メスを避けて求愛するのか?

○布施名利子・粕谷英一 (九大・理・生態)

P2-47 オオヨシキリの配偶者選択に免疫能は影響を与えるのか?

○永田尚志 (国立環境研・生物圏・個体群)

P2-48 ツバメが離婚する理由

○新井絵美 (上教大院・生物)・長谷川克 (筑波大院・生命環境)・中村雅彦 (上教大・生物)

P2-49 日本のツバメにおける性選択形質

○長谷川克 (筑波大院・生命環境)・新井絵美 (上教大・生物)・渡辺守 (筑波大院・生命環境)・中村雅彦 (上教大・生物)

P2-50 敗北の記憶は4日で消える! (オオツノクヌストモドキの雄間闘争)

○岡田賢祐・宮竹貴久 (岡山大院・環境・進化生態)

P2-51 ヨツモンマメゾウムシの壁作り：共倒れ型の幼虫間競争を引き起こす行動メカニズムの解明

○真野浩行 (筑波大・生命共存)・徳永幸彦 (筑波大・生命共存)

P2-52 餌の発見/採り損ねがゴミグモの造網行動に与える影響

○中田兼介 (東京経済大)

P2-53 タガメの捕獲形質と採餌行動

○大庭伸也・中筋房夫 (岡大・院・昆虫生態)

P2-54 林内で生活するノシメトンボの雌の摂食量と消化速度

○岩崎洋樹・渡辺守 (筑波大・生物科学)

P2-55 黴びた葉はご馳走? 揺籃に *Penicillium* を植えるハギルリオトシブミとその菌の役割

○小林知里 (京大院・人環)・深澤遊 (京大院・農)・広瀬大 (筑波大・菅平高原実験センター)・加藤真 (京大院・人環)

P2-56 口永良部島におけるナンヨウツバメウオ (*Platax orbicularis*) の幼魚の採餌行動に関する研究

○Barros, Breno・Sakai, Yoichi・Hashimoto, Hiroaki・Gushima, Kenji (Hiroshima University Graduate School of Biosphere Science)

P2-57 ウナギのマイクロハビタット選択：小規模河川でのエンクロージャーの試み

○朝倉孝志・熊谷俊介・赤川泉 (東海大・海洋)

P2-58 ムラサキウニの採食行動5 - グレイジングとブラウジング -

○宮本康司・幸島司郎 (東工大・生命理工)

P2-59 カメレオンの採餌行動：獲物への接近と舌の射出

○高橋洋生 (東邦大・理・生物)

P2-60 意思決定と身体運動の相互作用による行動の多様化

○右田正夫 (滋賀大・教育・情報)・楠芳之 (リバーシステム)・森山徹 (はこだて未来大・システム情報科学・複雑系)

P2-61 直観生物学モジュールは生物の“習性・生態”に対して特に敏感か。

○小林朋道 (鳥取環境大・環境情報・環境政策)

P2-62 アジアゾウ *Elephas maximus* による相対的数量判断

○入江尚子 (東大院・人文・基礎文化)・佐藤隆夫 (東大院・人文・基礎文化)・長谷川寿一 (東大院・総合文化・広域科学)

P2-63 イロワケイルカ(*Cephalorhynchus commersonii*)の新生児における社会行動の発達

○酒井麻衣 (東工大・生命理工・生体システム)・森阪匡通 (京大・理・動物行動)・岩崎麻里 (東工大・生命理工・生体システム)・吉田弥生 (東工大・生命理工・生体システム)・若林郁夫 (鳥羽水族館)・世古篤史 (鳥羽水族館)・笠松雅彦 (鳥羽水族館)・幸島司郎 (東工大・生命理工・生体システム)

P2-64 害獣追ひ払い犬の訓練コストと適性個体選抜テストの可能性

○石川圭介 (麻布大・獣医・動物行動管理)・横山真弓 (兵庫人自然博・生態)・坂田宏志 (兵庫人自然博・生態)

P2-65 イヌの個性と遺伝子

○鈴木美由紀 (帝京科学大・アニマルサイエンス)・藪田慎司 (帝京科学大・アニマルサイエンス)・工藤野花 (帝京科学大・アニマルサイエンス)・前島雅美 (岐阜大・応用生物)・牧拓也 (岐阜大・応用生物)・村山美穂 (岐阜大・応用生物)

P2-66 スジエビ *Palaemon paucidens* が定位する時の体軸の方向と感覚器官の役割について

○石井学 (校成学園)・芝崎幸司・小長谷達郎・松井稜太郎(校成学園高等学校1年)・岩田輝・早船佑介(校成学園中学校3年)

P2-67 ヘビギンボの縄張り雄のお引越し—モテない雄は縄張りを移す—

○小栢俊彦・幸田正典(大阪市大院・理・動物機能生態)

P2-68 Spatially synchronized variation in roosting behaviour and sex-biased dispersal in a Japanese bat species.

○Lázaro M. Echenique-Díaz・Jun Yokoyama・Masakado Kawata (Tohoku University)

P2-69 ハト *Columba livia* は空間移動課題でプランニングをするか?

○宮田裕光 (京都大院・文・心理)・藤田和生 (京都大院・文・心理)

P2-70 無尾両生類における跳躍能力の温度依存性

○真山春菜・長谷川雅美 (東邦大・理・生物)

P2-71 ウスバシロチョウの飛翔行動と GPI 遺伝子座・翅の黒化度の関係

○野田智昭・岩田典子・土田浩治 (岐阜大・応用生物・昆虫)

P2-72 シロオビアゲハとベニモンアゲハの飛翔行動について

○来田村輔・今福道夫 (京大・理・動物行動)

P2-73 夜のナビゲーションでカメムシは林冠を方向決定の cue とする

○弘中満太郎 (浜松医大・生物)・稲富弘一・野間口真太郎 (佐賀大・農)・堀口弘子・針山孝彦 (浜松医大・生物)

P2-74 創出した生息地においてヒヌマイトトンボ成虫が示した行動のレポートリー

○寺本悠子・渡辺守 (筑波大院・環境科学・保全生態)

ビデオ講演

10月27日(金) 16:30~16:45

農学部1号館・第3講義室

V-1 ジャコウアゲハの蛹化、羽化と帯糸

○新穂千賀子 (兵庫県立大・環境人間)

参加者名簿

(○：懇親会参加、S：シンポジウム、R：ラウンドテーブル、P：ポスター、V：ビデオ)

- 赤川泉 東海大・海洋 P1-47, P2-57
- 秋元信一 北大院・農・生物生態体系 P1-27, P1-32
- 朝倉孝志 東海大・海洋 P2-57
- 浅見崇比呂 信州大・理・生物 R-1, P1-46, P1-72
- 葦原沙都子 信州大・教育・生態
- 阿部拓三 南三陸町・自然環境活用セ P1-40
- 阿部由紀子 琉球大院・理工・海洋自然 P1-67
- 新井絵美 上教大院・生物 P2-48, P2-49
- 池田早登司 和歌山大院・教育・理科教育 P2-43
- 池田謙 琉球大・理・海洋自然 P1-51, P1-67, P1-71
- 池渕万季 金沢工大・人情研
- 伊澤栄一 慶応大・心理 P1-10, P2-14
- 石井学 佼成学園中学高等学校 P2-66
- 石井康規 北大院・農・動物生態 P1-4
- 石川圭介 兵庫・人自然博・生態 P2-64
- 石田惣 大阪市立自然史博物館
- 石原道博 大阪府大院・理・生物
- 伊藤正人 大阪市大・心理 P1-9
- 稲富弘一 佐賀大・農 P1-17, P1-18, P2-17, P2-73
- 稲森啓太 京大・理・動物行動 P1-34
- 井上真 ソニー・技術戦略部
- 井上裕紀子 北大院・水産 P1-57
- 井上陽一 西舞鶴高校 P2-11
- 猪田利夫 希少水生昆虫研究会 P1-55
- 今川拓也 静岡大院・生地・神経行動 P1-13
- 今福道夫 京大院・理・動物行動 P2-72
- 入江萩子 筑波大・生物 P2-27
- 入江尚子 東大院・人文・心理 P2-62
- 岩崎洋樹 筑波大・生物 P2-54
- Wiwegweaw, Amporn 信州大・理・生物 R-1, P1-72
- 上田恵介 立教大・理・動物生態 P1-8, P2-21
- 植松圭吾 東大院・広域システム P2-18
- 江崎佳奈子 高知大・理・自然環境
- Echenique-Diaz, Lazaro M. 東北大院・環境生命 P2-68
- 大塚悠 東海大・海洋 P1-47
- 大西義浩 鹿児島大院・連合農・生物環境保護 P1-52
- 大庭伸也 岡大院・自然・昆虫生態 P2-53
- 大場信義 産総研・関西セ P1-36
- 岡田賢祐 岡大院・環境・進化生態 P2-50
- 岡本茜 和歌山大・教育・自然環境教育 P2-44
- 小栢俊彦 大阪市大・理・動物機能生態 P2-67
- 沖彩矢香 和歌山大・教育・自然環境教育
- 奥圭子 岡大院・環境・進化生態 P2-35
- 小椋恵梨 九大・理・生態 P2-19
- 尾崎有紀 奈良女子大院・人間文化・生物
- 小田亮 名古屋工大・情報 P2-9
- 小野知洋 金城学院大
- 小原嘉明 農工大院・農 R-3, P1-19, P2-16
- 加川尚 近畿大・理工・生命 P1-11
- 粕谷英一 九大・理・生態 S-8, P1-20, P1-33, P2-31 P2-46
- 片山昇 京大・生態研セ P1-64
- 加藤勝彦 岡大院・環境・進化生態
- 門田立 広島大院・生物圏科学 P1-43
- 河上康子 高槻市
- 川喜多愛 大阪女子大・環境理学・進化生態
- 川崎建次郎 生物研
- 岸茂樹 京大院・農・昆虫生態 P1-29
- 岸田竜 佐賀大・農 P2-28
- 北島淳也 岐阜大・地域科学 P1-38, P1-39
- 来田村輔 京大・理・動物行動 P2-72
- 草山太一 昭和和・教育・心理 P1-69
- 工藤起来 新潟大・教育人間科学・生物
- 工藤慎一 鳴門教育大・学校教育・生物 R-4
- 久保陽子 大阪府大院・理・生物
- 栗岩薫 東大・海洋研 R-3
- 栗和田隆 九大・理・生態 P1-33
- 黒田一磨 岡大院・環境・昆虫生態
- 桑村哲生 中京大・教養 P2-39
- 香田康年 吉備国際大・保健科学
- 古賀庸憲 和歌山大・教育 P2-43, P2-44
- 小汐千春 鳴門教育大・学校教育 P1-16
- 小嶋さゆり 鳴門教育大
- 小須田和彦 城西大・理・教養 P1-49
- 後藤太郎 三重大・教育・生物 R-1
- 小林和也 北大・農・動物生態 P1-2
- 小林知里 京大・院・人環 P2-55
- 小林朋道 鳥取環境大・環境情報・環境政策 P2-61
- 小林憲正 岡大院・環境・昆虫生態 P2-3
- Gowaty, Patty University of Georgia S-5
- 近藤紀子 慶応大・心理 P2-14
- 齋藤裕 北大院・農 P2-1
- 酒井麻衣 東工大・生命理工・生体システム P2-63
- 坂井陽一 広島大院・生物圏科学 P1-23, P1-43, P2-56
- 阪本真吾 筑波大・下田臨海
- 坂本隆太郎 筑波大院・生命環境・海洋生態研
- 相良亮 香川大・農・昆虫 P1-26
- 佐川鉄平 琉球大院・海洋環境・熱帯生物 P1-37, P2-41
- 櫻井一彦 成城大

- 桜井玄 九大・理・生態 P2-31
- 桜井雄太 帝京科学大院・アニマルサイエンス P1-70
- 佐々木有香 北大院・農・昆虫体系 P1-32
- 貞松大樹 広島大・生物生産 P1-23
- 佐藤ミチコ 大阪市立自然史博物館
- 真山春菜 東邦大院・理・生物 P2-70
- 鮫島由佳 京大院・生態研セ P2-36
- 繁宮悠介 長崎総合科学大・人間環境 P2-45
- 柴尾晴信 東大・教養 P2-18, P2-24
- 柴田淳也 京大・生態研セ P1-41
- 柴田智広 岐阜大院・応用生物・昆虫生態 P1-21
- 嶋田正和 東大院・総合文化・広域 P1-1, P2-18
- 清水健 京大院・農・昆虫生態
- 杉田典正 立教大院・生命理学 P2-21
- 杉緑 信州大・理・生物 P1-46
- 須崎大介 近畿大・理工・生命 P1-11
- 鈴木研太 理研・BSI・生物言語 P1-14
- 鈴木祥平 大阪市大院・理・動物機能生態 P2-37, P2-39
- 鈴木俊貴 東邦大・生物・地理生態 P2-12
- 鈴木信彦 佐賀大・農 P1-52, P1-56, P2-28
- 鈴木真理子 京大・霊長研 P2-10
- 鈴木美由紀 帝京科学大院・アニマルサイエンス P2-65
- 角恵理 東大院・総合文化 P2-15
- 関さとし 琉球大・理工 R-1, P1-45
- 関元秀 東大院・理・生物 P2-20
- 世古智一 岡大院・環境
- 曾我部篤 愛媛大院・理工
- 高木憲太郎 NPO法人パードリサーチ P1-58
- 高津英夫 東海市 P2-25
- 高橋絢 琉球大・理工・海洋自然 P1-45
- 高橋智 奈良女子大・人間文化 P1-44
- 高橋純一 玉川大・ミツバチ科学 P1-6, P1-53
- 高橋洋生 東邦大・理・生物 P2-59
- 高橋麻理子 東大院・総合文化・心とことば S-6
- 高橋美樹 理研・BSI・生物言語 P2-13
- 高橋佑磨 筑波大院・生命環境 P1-24
- 田上佳子 東海タナゴ研究会 P1-39
- 滝若菜 筑波大・生物科学 P1-54
- 竹内剛 京大院・理・動物行動 P2-34
- 竹垣毅 長崎大院・生産研 P1-48, P2-38
- 竹下文雄 熊本大院・理・生命科学
- 武山智博 京大・生態研セ R-4, P2-42
- 田島裕介 筑波大院・生命環境 P2-30
- 巽真悟 岡大・農・総合の害虫管理 P2-2
- 田中啓太 東京都
- 田中豊人 都健安研・環境保健・生体影響
- 田中良穂 大阪女子大・環境理学・生物
- 種田耕二 高知大・理・自然環境 P2-40
- 趙莉莉 岡大院・環境・進化生態
- 土田浩治 岐阜大・応用生物・昆虫 P1-5, P1-21, P1-35, P2-71
- 土屋香織 首都大・院・理 P2-26
- 土屋泰三 京大・人環 P1-63
- 恒岡洋右 茨城大・理・自然史 P1-3
- 寺田憲司 岡大院・環境・進化生態 P1-15
- 寺本悠子 筑波大・環境科学 P2-74
- 土居英里奈 岡大院・環境・進化生態
- 土畑重人 東大院・総合文化・広域システム P1-1
- 中易知大 名古屋市
- 永井円 東邦大院・生物・海洋生物 P1-12
- 中尾芳典 琉球大・理・海洋自然 P1-37, P2-41
- 中地佐知江 農工大・農・獣医・動物行動 P2-16
- 中島定彦 関西学院大・文・心理 R-2
- 中嶋康裕 日大・経済 R-1, P1-44, P1-45, P2-41
- 中筋房夫 岡大院・環境・昆虫生態 P2-53
- 永田清美 三重大院・生資 P2-7
- 中田兼介 東京経済大 P2-52
- 永田尚志 国立環境研・生物・個体群 P1-8, P2-47,
- 中野亮 東大院・農・応用昆虫 P1-60
- 成田朱紀 農工大・農・獣医・動物行動 P1-19
- 新居洋吾 筑波大院・生命環境科学 P1-22
- 新穂千賀子 兵庫県大・環境人間 V-1
- 西川友紀子 高知大・理・自然環境
- 西野寛志 開明高等学校 P1-59
- 西森大樹 佐賀大院・農・システム生態 P1-56
- 西優輔 岡大院・環境・進化生態
- 野田智昭 岐阜大・応用生物・昆虫 P2-71
- 野間口真太郎 佐賀大・農 P1-17, P1-18, P2-17, P2-73
- 野村祥吾 玉川大・農 P1-53
- 野村雄太 岡大院・環境・進化生態
- Barros Breno 広島大・生物圏水産資源 P2-56
- 橋口陽子 東大・海洋研
- 長谷川英祐 北大院・農・生物生態体系 P1-2, P1-4
- 長谷川寿一 東大院・総合文化・生命環境 R-2, P2-62
- 長谷川克 筑波大院・生命環境 P2-48, P2-49
- 長谷川真理子 総研大院 S-7
- 幡司梢 岡大院・環境・進化生態
- 服部昭尚 滋賀大・教育・理数情報 P1-68
- 馬場成実 佐賀大・農・動物行動生態 P1-17, P1-18, P2-17
- 浜島健二郎 ハート
- 林岳彦 産総研 S-2
- 林文男 首都大・生命科学 R-3, P1-25, P2-26
- 原田泰志 三重大院・生資 R-4
- 原野智広 岡大院・環境・進化生態 S-3, P1-26, P2-32
- 阪野弘典 筑波大院・生命環境・共存生物
- 日高敏隆 地環研

- 人見奈緒子 大阪女子大・環境理学・生態学
- 日室千尋 京大院・農・昆虫生態 P1-31
- 平山寛之 九大・理・生態 P1-20
- 廣木眞達 国際基督教大・理・生物 P1-7
- 弘中満太郎 浜松医大・生物 P1-17, P1-18, P2-17, P2-73
- 深谷緑 生物研・昆虫行動 P2-29
- 福井昌夫 京大院・農・昆虫生理 P1-30
- 福井行雄 広島大院・生物圏科学 P1-23
- 福田真 信州大・教育・生態 P2-23
- 藤井暁子 高知大・理・自然環境
- 藤井泰 函館渡辺病院
- 藤田彩 香川大院・農・昆虫 P1-28
- 藤本麻里子 滋賀県大院・人間文化 P2-8
- 布施名利子 九大・理・生態 P2-46
- 二見恭子 長崎大・熱研・熱帯感染症研究セ P1-62
- 逸見泰久 熊本大・沿岸域環境科学教育研究セ
- Hosken, David University of Exeter in Cornwall S-1
- 細川貴弘 産総研・生物機能工学
- 本郷儀人 京大・理・動物行動 P2-33
- 本間淳 京大院・農・昆虫生態 P1-61
- 前川光司 北大・フィールドセ
- 松浦健二 岡大院・環境・昆虫生態 R-4, P2-2, P2-3, P2-4, P2-5
- 松岡加奈 大阪市大院・理・動物機能生態 P1-42
- 松阪崇久 滋賀県大・人間文化 P2-22
- 真野浩行 筑波大院・生命共存 P2-51
- 右田正夫 滋賀大・教育・情報 P2-60
- 三島歩 高知大・理・自然環境
- 溝口博美 香川大・農・昆虫 P1-26
- 宮竹貴久 岡大院・環境・進化生態 S, P1-15, P1-26, P2-50
- 宮田裕光 京大院・文・心理 P2-69
- 宮田亮 岡大院・環境・進化生態
- 宮本康司 東工大院・生命・基礎生物 P2-58
- 森尾妙子 東京都
- 森裕司 東大院・農学生命・獣医動物行動 R-2
- 森貴久 帝京科学大 P1-50
- 矢代敏久 岡大院・環境・昆虫生態 P2-4
- 安井行雄 香川大・農・昆虫 S-4, P1-26, P1-28
- 安森盟文 高松市
- 柳川厚史 函館渡辺病院
- 柳澤涼子 琉球大・理工・海洋自然 P1-71
- 柳真一 岡大院・環境 P1-26
- 藪田慎司 帝京科学大・アニマルサイエンス R-2, P2-65
- 山内淳 京大・生態研セ
- 山口幸 奈良女子大院・人間文化 P1-44
- 山口典之 横国大・環境情報 P1-8
- 山崎由美子 理研・脳科学・象徴概念発達 P1-14
- 山下次郎 鳴門教育大
- 山根隆史 岡大院・環境・進化生態
- 遊佐陽一 奈良女子大・理・生物 R-1
- 吉澤樹理 岐阜大・応用生物・昆虫 P1-35
- 吉田重人 千葉大院・自然科学：理研 BSI・生物言語 P2-6, P2-11
- 吉村和也 東工大・生命理工 P1-66
- 吉村仁 静岡大・創造科学技術大学院 R-3
- 和田年史 鳥取県博・山陰海岸学習館 P1-48
- 渡部あゆみ 東工大院・生命理工・生体システム P1-65
- 渡辺守 筑波大院・生命環境 P1-24, P1-54, P2-27, P2-30, P2-49, P2-54, P2-74

9月19日までに申し込みの方のみ掲載